

建設常任委員会行政視察（概要）

1 視察日

令和4年11月8日（火）～9日（水）

2 視察項目（視察都市）

- ・ごみダイエットプロジェクトについて（富士宮市）
- ・公共交通について（焼津市）

3 参加委員

委員長：上田 光夫

委員：辰見 直子、萩原 佳、岡本 壱郎、大村 卓司、稲葉 通宣

4 調査概要

富士宮市では、清掃センターに搬入されるごみを削減するため、平成28年12月より、市民、事業者及び行政が協働でごみの減量化と資源化を推進する「ごみダイエットプロジェクト」を開始した。食品ロスへの対策である宴会時の30・10運動の普及啓発や、商業施設での市民向けセミナーの開催、出前講座の実施、YouTubeを活用した啓発等、毎年様々な課題に取り組み、市民、事業者に周知・啓発を行うことに力を入れている。

焼津市では、道路運送法の改正による乗合バスの需給調整廃止に伴う路線バスの撤退の課題を受け、焼津市地域公共交通会議を設置した。平成11年の路線バスの撤退を受けて運行を開始した自主運行バスは、撤退した広域をカバーするために運行距離が長く、循環型の経路としている。平成21年には旧大井川町との合併があり、焼津地区と大井川地区を結ぶ路線の運行を開始した。令和4年4月からは大井川西部循環線を廃止し、デマンド型乗合タクシーの運行を開始した。



焼津市にて

5 委員長所感

富士宮市のごみダイエットプロジェクトでは、生ごみの水切り方法や搬出方法が分かりにくいマットレスの解体など、身近な素材を使って動画を作成している点が特徴的であった。本市においては令和5年4月から、ごみの広域処理開始に伴い、ごみの処理量の増加が想定されることから、富士宮市の事例を参考に、特色ある減量施策の推進に努めていきたい。

焼津市では、平成11年から自主運行バス事業を開始するなど、時機にあわせて様々な取り組みが進められている。本市でも、人口減少、少子高齢化の進展による公共交通のあり方について検討を始めているが、利用者数や経費面も含め、市民ニーズに合致した茨木市らしい取り組みとなるよう、焼津市の事業を参考にしていきたい。